

## こども食堂（後編）

2024/1/15 TN

2 年前に 92 歳で亡くなった母は、新年を迎える度に言っていました。  
また、ひとつ歳を貰えたよ。良い年にしないとなぁ…と。

今年の年明けに耳に届いたニュース、目にした映像は、良い年には程遠いものでした。  
被災地の方々のお心が、1 日でも、1 時間でも、1 秒でも早くに、平安に向かいますようお願いばかりです。

昨年末に「子ども食堂（前編）」が HP に掲載されました。その後編はまだかなあと、心待ちしている方がいらっしゃるのではと、勝手に売れっ子作家の気分を味わっていました。  
後編も、暫くお付き合いをお願いします。



## こども食堂（後編）

### 2 月 10 日打ち合わせ会

会長から視察の件、スタッフ以外のボランティアで豚汁を作る件の報告  
各担当からの中間報告  
調理担当から質問  
豚汁の材料購入、調理は？



材料購入、調理、運搬全てボランティア(会長知人)でやるので大丈夫です。

調理担当の「豚汁なんて作れないよう!」心の声が聞こえたのか、手を出さなくて良いとの事。  
なんか面白く無い私は、モヤモヤした気持ちを引きずったまま、打ち合わせ会は終了しました。

### 12 月 23 日（視察当日）

視察者：地域の県会議員、他地区の民生委員、他地区こども食堂関係者、健康福祉センター職員

担当（欠席者 3 名）：調理担当、ゲーム担当、ケーキ担当（当日スタッフ）

おじいちゃんとお母さん、兄弟、姉妹、お友達と賑やかな声と共に受け付けが始まりました。  
参加が初めてのこども達の中には少し不安そうな顔も見られます。

プログラムに沿って開会です。

### プログラム

- スタッフ紹介、参加者自己紹介
- グループ分け
- こども達と調理  
献立  
にぎらないおにぎり「おにぎらず」  
たこ焼き器で焼く「シュウマイ」  
自分で作る「デザート」  
野菜いっぱい「豚汁」
- 会食  
こども達のグループに保護者、スタッフが同席して食事
- 片付け
- 全盲の方による素話（すばなし）
- ゲーム  
ボッチャでグループ対戦
- 表彰式
- サンタさんからのプレゼント
- 歌「赤鼻のトナカイ」
- 閉会

調理室での注意事項、調理の説明を聞いて、低学年のお子さんはお母さんと、高学年のお姉さん達はひとりで作ります。

ケーキ作りは、カップの中に切ったカステラ、みかん缶、キウイを入れ、生クリームで飾りました。世界にひとつだけのケーキが出来ました。

「おにぎらず」は、こども達が自分で具を入れて包み、包丁で切り分けます。切った綺麗な断面に歓声が上がりました。

タコ焼き器で焼くシュウマイに、肉を入れる事もこども達の手でしました。

こども達は勿論、保護者の方々、視察に来られた方々も一緒に調理に参加してくださいました。担当を越えて協力してくれたスタッフ、みんなの力で調理室が一体になった事に感激しました。

調理を通して仲良しになった大人もこどもも、おしゃべりを楽しみながらの会食になった事は言うまでもありません。

午後のプログラムは、こども達の明るい声で充実している様子が調理室まで片付けをしている私たちに届きました。

「また、来るね」「楽しかった」「美味しかったよ」「嫌いなほうれん草も食べられたよ」「お皿洗うのお手伝いしたかったな」等々、私たちに最高の言葉と笑顔を残して帰って行きました。

### 補足

豚汁は、すごく美味しかったです。

献立については、意見交換をしっかりすべきだったと反省しました。

3月に「こども食堂」開催します。お孫さんと遊びに来てください。

問い合わせは TN まで

